

まちづくり交付金 事後評価シート  
穂高駅周辺地区

平成22年3月

長野県安曇野市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	安曇野市		地区名	穂高駅周辺地区			面積	135ha			
交付期間	平成17年度～21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	2,385百万円	国費率	0.376					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
			基幹事業	市道穂高1級4号線他関連道路改良、市道穂高2級21号線歩道設置工事、市道新設工事、穂高駅西交通広場設置工事、穂高地域交流センター建設・広場整備工事、公共施設等案内板										
			提案事業	図書館建設整備工事、歩いて回る道づくり事業、穂高駅西地区土地利用活用調査、地区内啓蒙・啓発事業										
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画から削除した事業		基幹事業	穂高駅東西自由通路建設事業、穂高駅東西自由通路車椅子対応エレベーター設置			東西自由通路建設については、橋上駅舎と一緒に検討を進めるようJRからの要望があり、合併後の各駅舎の整備方針を検討しながら今後整備を進めていくこととした。			駅西交通広場から駅舎脇の踏切を利用できることから渋滞延長等の指標に影響は少ない。				
			提案事業	防犯カメラ設置事業			防犯カメラは穂高駅東西自由通路に設置予定のため延期する。			防犯上問題が発生すると思われる施設が延期になったことから指数等には影響が無い。				
新たに追加した事業		基幹事業	市道穂高371号線改良工事、市道西穂高12号線改良工事、穂高駅西緑地整事業、穂高地域交流センター広場モニュメント設置工事			各事業の見直しにより関連事業として追加及び事業を分離することにより事業効果の向上を図る。			事業効果を高めたり効果の判断を明確にするための見直しであることから影響は無い。					
		提案事業	区画整理組合技術支援			組合施工による区画整理事業が施行になったことから技術支援を行う。			すでに新設道路等の指標に関する事業は計画に入っているため影響は無い。					
交付期間の変更		当初	平成17年度～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
		変更												
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	県道小岩岳・穂高停車場線渋滞長	m	300	H16	150	H22	●	170	△	あり なし	●	駅西交通広場及周辺道路整備により踏み切りを渡らずに駅への送迎をすることから渋滞延長は減少する。	H22年7月
	指標2	放置自転車数	台	50	H16	0	H22	●	10	△	あり なし	●	駐輪場の整備及び監視により放置自転車が減少し通行に支障をきたさなくなる。	H22年4月
	指標3	文化の香るまちづくり	人/年	97,000	H15	126,000	H21	●	300,000	○	あり なし	●	交流センターならびに図書館の整備により文化活動の幅が広がり利用者が増加している。	H22年10月
	指標4	歩行環境の満足度	%	10	H16	50	H21	●	53	○	あり なし	●	歩道整備ならびに段差の解消等により歩行環境が増進した。	H22年5月
指標5	住民のまちづくりへの関心度	%	10	H16	50	H21	●	65	○	あり なし	●	資料等を工夫し、興味深い話題づくりにより参加者が増加した。		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
その他の数値指標3														
4) 定性的な効果発現状況	駅を中心として、歩いて交流センター等の公共施設に行くことができ便利である。堀沿いの歩道は、景色も良く歩くのに良い延長である。													
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた								
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
住民参加プロセス					都市再生整備計画に記載し、実施できた									
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載し、実施できた									
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

## 様式2-2 地区の概要

### 穂高駅周辺地区(長野県安曇野市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	目標値	従前値	目標値	評価値	評価値
■田園と北アルプスを代表とする景観を守りながら、街(休穂高町)の中心であり、顔となる穂高駅周辺の交通アクセスの利便性向上を図る。 ■芸術・文化の発祥地である本地区に、地域交流センター等を建設する事により、地域住民のコミュニティ活動を積極的に支援するとともに、観光資源の一つとして集客を図る。 ■駅を中心に各公共施設や芸術文化施設、公園等を歩いて回れる道づくりを進める。	県道小岩岳・穂高停車場線渋滞長	単位:m	300	H16	150	H22	170	H21
	放置自転車数	単位:台	50	H16	0	H22	10	H21
	文化の香るまちづくり	単位:人/年	97,000	H15	126,000	H21	300,000	H21
	歩行環境の満足度	単位:%	10	H16	50	H21	53	H21
	住民のまちづくりへの関心度	単位:%	10	H16	50	H21	65	H21



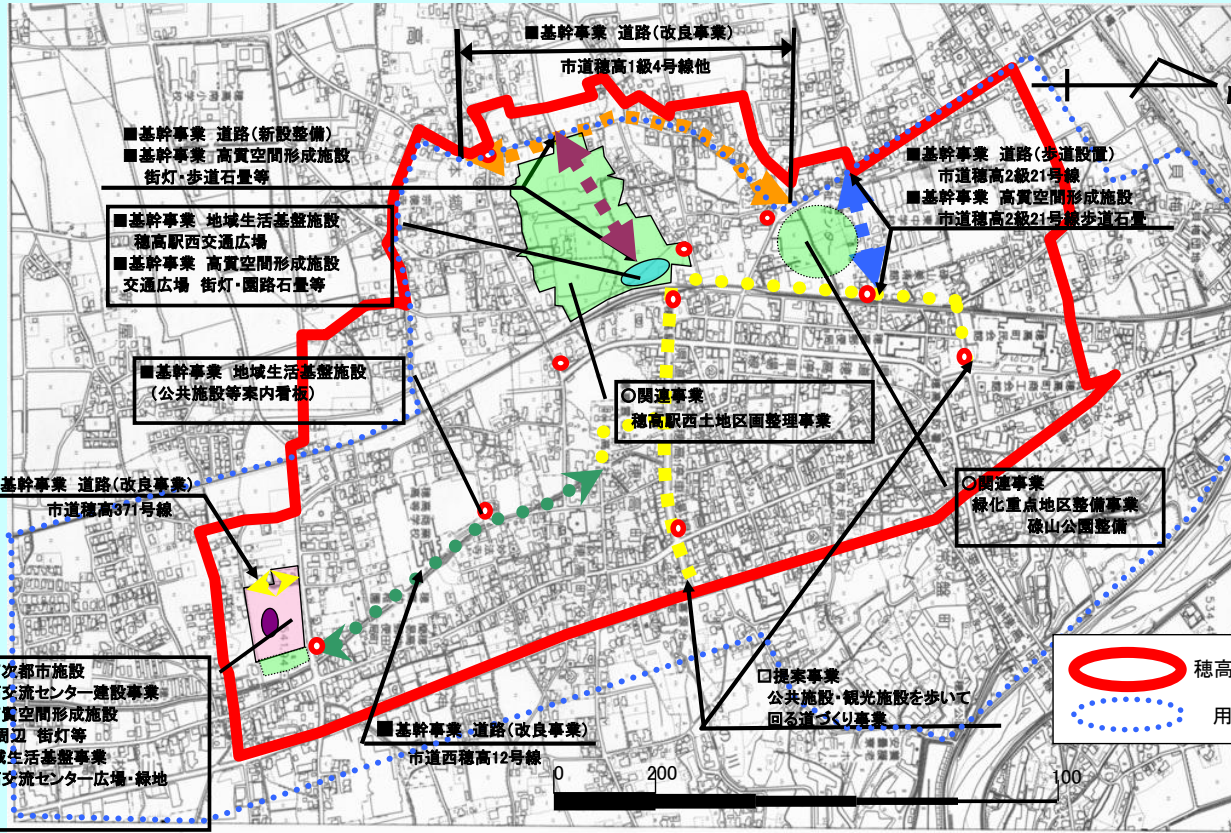
【道路事業】変則交差点の解消



【高次都市施設】  
地域交流センター・図書館建設事業



【道路事業】  
公共施設を歩いて回る道路整備



【道路事業】  
歩道の設置及び空地の有効活用



【道路事業・関連事業】  
変則交差点の改良及び歩道



【道路事業】

**まちの課題の変化**  
 「穂高駅西側市民は、駅西口が無いことから送迎は踏切を利用しており、通勤時間帯を中心に踏切での渋滞が発生する。」「穂高駅西地域は、用途地域でありながら公共施設(道路等)の整備が遅れたことから、不整形な農地が広がる。」「駅を十分に活用するため、安全・安心に歩いて公共施設や観光施設を回る道(歩道)が必要である。」「人口の増加により文化活動施設が不足していることから、拠点となる施設が必要である。」「以上のような課題に今回の事業により、次の点が改善された。」「駅西の低層住宅地としての基盤整備が行われ、駅西交通広場整備により踏み切りを利用しなくとも送迎が可能になった。」「周辺道路の歩道整備等を行い公共施設を歩いて回れる施設を整備した。」「交流センター・図書館建設により市民活動が幅広く行われるようになった。」「しかし、穂高駅東西自由通路、橋上駅舎、バリアフリー化等について更なる利便性について検討をする必要があり、文化活動施設においては、各施設で連携を図り、効率よく利用し充実を図る必要がある。また、生活道路においても安心して生活ができるよう歩道等安全対策が必要である。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**  
 ・穂高駅東西交通広場が完成したことから、安全に駅を利用するため駅の東西を自由に往來する通路を整備することにより、利用者の安全性、利便性の向上を図る。  
 ・周辺公共施設の連携を強化し、文化の拠点として施設の有効利用を図るため、市民活動を活発にしていきたいためのソフト面の充実を図る。  
 ・周辺道路は未改良道路が多く見られることから、整備を進めることにより、市民及び観光客の更なる利便性、安全性の向上を図る。  
 ・まちづくりに関する市民の関心を高める施策やPRを行うことにより、多くの市民がまちづくりに計画段階から参加できる方策を図っていく。